

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和3年度

施策コード	332	施策	生活困窮者への支援と社会保障制度の適正な運営
管理事業	国民年金事業	所管部局	市民部

1	所管 室課	市民課	事業名	国民年金事業	
事業概要					
資格適用、免除、給付、相談					
活動実績		年度	R2	R3	評価の視点
令和2年10月に業務改善の取組として、窓口業務を委託化した。それに伴い、令和3年度に正規職員の定数の見直しを図った結果、委託導入前の令和元年度と比較して、委託料が約17,000千円増額したが、人件費が約27,000千円減額したことにより、国民年金事業費全体で約10,000千円の減額が図ることができた。 また、事務改善の面では、日本年金機構から毎週届く年金加入等の処理結果約1,500件について、これまで職員が入力に1週間要していたが、RPAの本格導入により、約3時間で処理できるようになり、事務の効率化を図ることができた。 これらを進めた結果、職員については、新たな市民サービスの向上とDX推進の取組として、年金に関する様々な相談、各種申請、届出手続について、吹田市電子申込システムを活用した事前予約制を導入したことにより、来庁者の利便性の向上と在庁時間の短縮を図った。また、郵送による申請を推奨し、各種申請書をホームページから印刷できるようにするとともに、記載説明についてホームページに動画配信を行った結果、来庁することなく申請・届出ができる環境を整えた。 次年度に向けて、更なるDX推進と市民の利便性向上を図るため、年金に関する各種申請について、電子申請により行うことができるよう独自で取組を開始した。		決算額（千円）	20,499	30,466	
		一般財源の比率（％）	0.0	0.0	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割 □ 有効性 □ 効率性 □ 公平性 ■ 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 拡充・縮小 委託業務内容を見直しを図り、それに伴い2名削減する予定。
		国民年金事業は国からの事務委託交付金により実施しており、今年度は人件費、物件費ともに全額交付金内で賄うことができた。今後も、交付金の範囲内で賄うことができるよう事業の継続に努める。 また、更なるDX推進として、各種申請の電子申請について、個人情報の取扱なども含め、情報政策室と協議を進める。			

	所管 室課	事業名		
事業概要				
活動実績	年度	R2	R3	評価の視点
	決算額（千円）			※課題があるものは■
	一般財源の比率（％）			☐ 市民ニーズ、社会的役割
	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			☐ 有効性
				☐ 効率性
				☐ 公平性
			☐ 持続可能性	
			今後の実施計画の方向性・内容	

	所管 室課	事業名		
事業概要				
活動実績	年度	R2	R3	評価の視点
	決算額（千円）			※課題があるものは■
	一般財源の比率（％）			☐ 市民ニーズ、社会的役割
	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			☐ 有効性
				☐ 効率性
				☐ 公平性
			☐ 持続可能性	
			今後の実施計画の方向性・内容	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名